

与那城町漁協少年水産教室

水産海洋技術センター 米丸浩平

1. 目的

地域の子供たちに漁業体験や魚の調理、食事等を通して、地域の水産業に親しんでもらう事を目的とする。

今年度は昨年度に引き続き、与那城町漁協に協力し、地元高江洲小学校で出張水産教室を行った。

2. 方法と結果

本水産教室は、与那城町漁協および同漁協女性部が主体となり、マリパワー事業による予算を利用し、高江洲小学校3年生及びその保護者、指導者約100名を対象に大規模に実施された。

1) 沖縄の漁業と与那城の漁業

冒頭では、当センター米丸より、上記題目で簡単な講義を行い、沖縄全体の漁業に比べて、沿岸資源の水揚が多い傾向にあること等を紹介した。

2) マグロ解体ショー、刺身切り体験

女性部によるマグロ解体ショーが開催され、女性部長の包丁さばきに組合長の威勢のいい掛け声も加わり、大変な盛り上がり

となった。ショーの後は、冊取りされたマグロを刺身に切る体験が行われ、アドバイスを受けながら刺身を切る子供と心配そうに見守る保護者の姿が印象的だった。

刺身切りの後は自ら捌いたマグロでどんぶりをつくり、和気あいあいと昼食をとった。

3) 疑似餌ストラップ作り

昼食の後は、組合長が中心となり、タコベイトを用いた疑似餌ストラップ作りを行った。細かい作業や力のいる作業に保護者の力を借りながら、苦勞して作り上げたストラップの出来に、子供たちも満足そうだった。

3. 考察

同漁協は、組合長も若く行動力があり、女性部も部長を中心に積極的に活動している。青壮年部も結成2年目を迎え、ますます活発に活動していこうとしているところなので、水産教室に限らず何かしらの取り組みを一体となって行っていきたい。



中落ち取り体験



刺身切り体験



親子でストラップ作り